

3時間目の授業

- (1) 目標
意味段落における論の展開や具体例の内容に注目して、筆者の主張を読み取ることができる。
- (2) 展開

過程	学習活動	指導・支援 * 評価
導入	<p>1 本時の目標を確認する。</p> <p>2 本時の目標を意識しながら、第5段落から第9段落までを通読する。</p>	<p>第5段落から第9段落にかけての論の展開や二つの具体例の内容に注目して、筆者の主張をとらえる作業を行うことを伝える。</p> <p>段落毎の内容や具体例の内容を確認しながら読むように指示する。</p>
展開	<p>3 第5段落から第7段落を通読し、「傍若無人」の具体例の内容を整理する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「傍若無人と見える人」を筆者はどのような人と考えているかを理解する。 ・「不器用さ」と「家族やそれに類する仲間の無制限な好意」との関係について考える。 ・「傍若無人」の具体例と「社会性」の関係を読み取る。 <p>4 第8段落から第9段落を通読し、第8段落の役割と第9段落の「子ども時代」の具体例の内容を整理する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第8段落の役割をまとめる。 ・「この道德教育はなかなか巧妙である」という表現に注目し、「巧妙」さについて考える。 	<p>前段落までに繰り返し出てくる「説得」という表現に注目するように指示する。 「自分をうまく説得できない不器用な人」</p> <p>「人並みに器用にする」ためには「赤の他人の無関心にほうり込めばいい」という表現を参照して考えるように指示する。</p> <p>第8段落に「社会性」という表現が出てくることに注目させ、論の展開についても確認させる。</p> <p>「傍若無人」の具体例と「社会性」の関係を踏まえさせ、第9段落との関係に注目させる。 「社会」「選択」「自由」というキーワードを押さえさせる。</p> <p>「子ども時代」の具体例について補足説明をする。また、この具体例で取り上げられている論理の巧妙さとその論理を作動させる元の力の存在とを、次の段落とのつながりを踏まえて気付かせる。</p> <p>* 論理の展開と具体例の内容を読み取っている。 【ワークシート、観察】</p>
終末	<p>5 本時の作業を振り返る。</p>	<p>筆者の考え方や論理の展開について確認させる。</p> <p>本時の気付き（分析・評価の材料）をまとめさせる。</p>